

プログラム

9:00 開場
9:55 開会の挨拶

優秀発表賞 選考対象 

一般演題セッション1

10:00~10:45

座長：笠原 二郎 先生（徳島大学）

1-1 ドーパミン D1 受容体発現低下による全脳神経活動変化および行動変化



○関本麻衣¹⁾、谷平大樹²⁾、古澤唯夏³⁾、菊田里美²⁾、内田克哉⁴⁾、田村篤史³⁾、南部篤⁵⁾、笹岡俊邦⁶⁾、小山内 実^{1, 2, 3)}

大阪大学大学院生命機能研究科¹⁾、東北大学大学院医学系研究科²⁾、
大阪大学大学院医学系研究科³⁾、東北大学大学院情報科学研究科⁴⁾、生理学研究所⁵⁾、
新潟大学脳研究所⁶⁾

1-2 p11依存性コリン作動性回路を介した、歯状回による新奇性関連中脳皮質ドーパミンシグナルの制御

河原幸江¹⁾、大西克典¹⁾、杵山慶太¹⁾、中村祐樹^{1,2)}、岸川由紀^{1,3)}、河原 博^{4,5)}、
○西 昭徳^{1,6)}

久留米大・医・薬理¹⁾、大阪公立大・医・薬理²⁾、西九州大・リハビリ³⁾、鶴見大学・
歯・歯科麻酔⁴⁾、伊東歯科口腔病院⁵⁾、久留米大・医・医療検査

1-3 幼若期熱性けいれんによるドーパミンシナプス制御異常を伴うADHD様行動におけるミクログリア活性化の寄与



○矢嶋くるみ¹⁾、國澤和生^{1,4,6)}、長谷川 真也^{1,5)}、倉橋仁美^{1,5)}、石坂友紀乃¹⁾、成岡佑太¹⁾、大橋茉央¹⁾、坂田昂駿¹⁾、須貝智也²⁾、杳村憲樹²⁾、鍋島俊隆^{3,5,6)}、
毛利彰宏^{1,5,6)}

藤田医科大学大学院医療科学研究科レギュラトリーサイエンス分野¹⁾、筑波大学国際
統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS）創薬化学研究室²⁾、藤田医科大学・大学院医療
科学研究科・健康医学創造共同研究部門³⁾、藤田医科大学精神・神経病態解明セン
ター神経免疫学部門⁴⁾、藤田医科大学精神・神経病態解明センター神経免疫学部門⁵⁾、
NP0法人医薬品適正使用推進機構（J-D0）⁶⁾

休憩

10:45~11:00

一般演題セッション2

11:00~11:45

座長：大澤 匡弘 先生（帝京大学）

2-1 Diminazene aceturateの抗痛覚過敏作用におけるMAS1受容体およびATP感受性カリウムチャネルの関与



○志賀理望、根本 互、洪 琬貽、山縣涼太、中川西 修、丹野孝一

東北医薬大・薬・薬理

2-2 自発的ホイール走はストレス性痛覚過敏を緩和し、吻側延髄腹内側部セロトニン作動性ニューロンにおける pCREB 発現を増加する

○井辺弘樹¹⁾、井原勇人²⁾、上 勝也³⁾、中田正範⁴⁾、廣野守俊⁴⁾

和歌山県立医科大・医・第一生理¹⁾、和歌山県立医科大学 ラジオアイソトープ実験施設²⁾、宝塚医療大 和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科³⁾、和歌山県立医科大・医・第二生理⁴⁾

2-3 慢性拘束ストレスによって生じる痛覚過敏に対するサンショウアロマ緩和効果

○廣野守俊¹⁾、井辺弘樹²⁾、上勝也³⁾、児玉圭佑⁴⁾、門脇昭夫⁴⁾、我藤伸樹⁴⁾、中田正範¹⁾、井原勇人⁵⁾

和歌山県立医科大・医・第二生理¹⁾、和歌山県立医科大・医・第一生理²⁾、宝塚医療大学・和歌山保健医療³⁾、中野BC（株）・食品科学⁴⁾、和歌山県立医科大・医・RI実験施設⁵⁾

昼休憩 11:45~13:30

世話人会（会議室2A） 11:50~

特別講演 13:30~14:30

座長：村上 由希 先生（関西医科大学）

「シナプス小胞への神経伝達物質再充填のメカニズム」

同志社大学脳科学研究科 神経膜分子機能部門
高森 茂雄 先生

休憩 14:30~14:45

一般演題セッション3 14:45~15:30

座長：廣野 守俊 先生（和歌山県立医科大学）

3-1 ノルアドレナリンシグナルを介した前頭前皮質のNG2グリアの活性化は神経活動低下ならびにうつ様行動を惹起する



○成岡佑太¹⁾、國澤和生^{1,4,5)}、小川萌佳¹⁾、須貝智也²⁾、沓村憲樹²⁾、鍋島俊隆^{3,4,5)}、毛利彰宏^{1,4,5)}

藤田医科大学・大学院医療科学研究科・レギュラトリーサイエンス分野¹⁾、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS）創薬化学研究室²⁾、藤田医科大学・大学院医療科学研究科・健康医学創造共同研究部門³⁾、藤田医科大学・精神神経病態解明センター⁴⁾、NPO法人医薬品適正使用推進機構⁵⁾

3-2 社会的敗北ストレスによる脊髄後ニューロンにおける神経活動の亢進に対するノルアドレナリン神経系の関与

○大澤匡弘¹⁾、池田桃菜¹⁾、清水友香¹⁾、金谷萌子²⁾、歌大介³⁾、梅澤直樹⁴⁾

帝京大・薬・薬効解析¹⁾、埼玉大・理工²⁾、富山大・院医薬・応用薬理³⁾、名市大・院薬・生物有機化学⁴⁾

3-3 片側パーキンソン病モデルマウスにおけるカリブラジンの薬効評価



○岩本緋天、三成沙羅、山崎愛奈、笠原二郎

徳島大学 大学院薬学研究科 薬学専攻 神経病態解析学分野

休憩

15:30~15:45

一般演題セッション4

15:45~16:30

座長：毛利 彰宏 先生（藤田医科大学）

4-1 パーキンソン病モデルマウスの運動症状に対する抗うつ薬ミルタザピンの薬効

○笠原二郎、山崎愛奈、三成沙羅

徳島大学 大学院医歯薬学研究部/薬学部 神経病態解析学分野

4-2 ドライアイモデル動物における大脳皮質の興奮変化

○益岡尚由¹⁾、鄭 仕傑¹⁾、清井武志¹⁾、富永洋子^{2,3)}、富永貴志²⁾

金沢医科大・医・薬理学¹⁾、徳島文理大・神経科学研究所²⁾、沖縄科学技術大学院大学³⁾

4-3 「うつザルのDSMテストバッテリー」の構成6テストとうつ病様個体の判定方法

○山中 創

沖縄科学技術大学院大学（OIST） 神経回路ユニット

16:30 優秀発表賞 表彰式&記念撮影

16:40 世話人会報告

16:50 次回開催案内 毛利 彰宏 先生（藤田医科大学）

16:55 閉会挨拶・終了

情報交換会

17:00~19:00